

Tsuyama College		Year	2017		Course Title	英語表現Ⅱ
Course Information						
Course Code	0009			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program			Student Grade	2nd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：Atlantis English Expression II（有限会社CHEERS） 参考書：辞書（電子辞書可）					
Instructor	RAMBO Eric					
Course Objectives						
1.英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 2.標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できる。 3.適切な文法を使って、GTEC程度の基本的なエッセーを書くことができる。 4.基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、使用することができる。 ◎コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度がよく身に付いている。	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いている。	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度がおおむね身に付いている。	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いていない。		
評価項目2	標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢をよく理解できる。	標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できる。	標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢をおおむね理解できる。	標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できない。		
評価項目3	適切な文法を使って、GTEC程度の基本的なエッセーをうまく書くことができる。	適切な文法を使って、GTEC程度の基本的なエッセーを書くことができる。	適切な文法を使って、GTEC程度の基本的なエッセーをおおむね書くことができる。	適切な文法を使って、GTEC程度の基本的なエッセーを書くことができない。		
評価項目4	基本的な会話やエッセーを書くための語彙をよく理解し、かつ使用することができる。	基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することができる。	基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することがおおむねできる。	基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することができない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別・学習の分野：一般・外国語 必修・履修・履修選択・選択の別：必修 基礎となる学問分野：英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学 学科学習目標との関連：本科目は「④教養豊かな実践的人間力の養成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成」であるが、付随的には「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」に関与する。 授業の概要：検定教科書の様々な英文を通して、語彙・発音・文法を習得した後で、リスニングとスピーキングの活動を行う。さらに定期的に英語でエッセーを書く。					
Style	授業の方法：4技能（聴き・読み・書き・話す）全てのスキルの向上を目指してアクティビティーを行う。 成績評価方法：4回の定期試験の結果を同等に評価する 50% 小テスト、エッセー、その他の課題 50% 再試験はしない。					
Notice	履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。 履修のアドバイス：ノートを準備して授業のノートを取り、頻繁に授業の復習をすること。本授業では辞書は必須である。（可能であれば、電子辞書が好ましい。） 基礎科目:英語I（1年）英語表現I（1） 関連科目:英語II（2年）・英語III（3）・英語IV（4）・コミュニケーション学I（4）・国際英語論I（4）・コミュニケーション学II（4）・国際英語論II・英語V（5） 受講上のアドバイス:必ず宿題をしてから、授業に臨むこと。熱心に授業に参加し、宿題をきちんとやり続ければ大きく英語の力を伸ばすことができる。授業開始後の入室は遅刻とみなし、2回の遅刻で1単位時間の欠課とする。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	前期ガイダンスAtlantis, Lesson 1			
		2nd	Atlantis, Lesson 1			
		3rd	Atlantis, Lesson 2			
		4th	Atlantis, Lesson 2 Essay 1提出			
		5th	Atlantis, Lesson 3			
		6th	Atlantis, Lesson 3			
		7th	まとめと中間試験対策			
		8th	（前期中間試験）			
	2nd Quarter	9th	前期中間試験の返却と解説Atlantis, Lesson 4			
		10th	Atlantis, Lesson 4			
		11th	Atlantis, Lesson 5 Essay 2 提出			

2nd Semester		12th	Atlantis, Lesson 5	
		13th	Atlantis, Lesson 6	
		14th	まとめと期末試験対策	
		15th	前期末試験の返却と解答解説	
		16th		
	3rd Quarter	1st	Atlantis, Lesson 7	
		2nd	Atlantis, Lesson 7	
		3rd	Atlantis, Lesson 8	
		4th	Atlantis, Lesson 8 Essay 3 提出	
		5th	Atlantis, Lesson 9	
		6th	Atlantis, Lesson 9	
		7th	まとめと中間試験対策	
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	後期中間試験の返却と解説Atlantis, Lesson 10	
		10th	Atlantis, Lesson 1 0	
		11th	Atlantis, Lesson 1 1	
		12th	Atlantis, Lesson 1 2 Essay 4 提出	
		13th	Atlantis, Lesson 1 2	
		14th	まとめと期末試験対策	
		15th	後期末試験の返却と解答解説	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計	Total
Subtotal	0	0	0	0	0	0	0	0
総合評価割合	5 0	0	0	0	2 5	2 5	1 0 0	0
基礎的能力	5 0	0	0	0	2 5	2 5	1 0 0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0